

## 県交通安全施設業協会「子供を守ろうプロジェクトIN飯塚」

子どもたちの安全確保へ、飯塚市の通学路に横断防止柵や横断線等を設置



慣れた手つきで横断防止柵を設置する会員社の専門技術者

県内の交通安全施設工事業者らで組織する（一社）福岡県交通安全施設業協会（田中賢哉会長、会員69社・賛助会員30社）は20日と21日の2日間、「子供を守ろうプロジェクトIN飯塚」として、飯塚市の市立二瀬中学校や伊岐須小学校沿いの市道通学路を対象に、歩道部の横断防止柵約230mの設置と車道部の横断線・予告マーク工事などを施工し、次世代を担う子どもたちの交通事故防止活動を行った。

このプロジェクトIN飯塚は、同協会筑豊地区の理事会社（㈱九州標識と工事施工会員5社（㈱K・H・K、㈲タナカ安全設備、㈱和幸産業、㈱フクモト、㈱シンワロード）から延べ20数人が参加。今回の施工場所には、飯塚市立伊岐須小学校や二瀬中学校、保育園等が近くにあり、1日に1,400人以上の子ども達が登校する通学路でもあり、交通安全の確保が求められている。工事施工を担当した会員技術者は、専門工事業者として日々鍛えた技を駆使し、学校通学路沿い市道の歩道部に横断防止柵延長226.6mを設置したほか、車道部に道路横断線・予告マークなどを施工し、子ども達を交通事故から守るとともに、地域の方や保護者の安全に対する意識高揚にも役立つものと期待されている。



「子供たちの事故防止を願う」と大塚理事





田中会長らも現地視察

このプロジェクトは毎年実施しており、今年で県内4回目（県協会単独2回目）。1日目の20日（火）には同協会の星子洋満副会長（双葉工業㈱）、2日目の21日（水）は田中会長（西日本ディックライト㈱）と田井晴彦事務局長らが現地を視察訪問し、会員さんにねぎらいの言葉をかけた。同プロジェクトIN飯塚で陣頭指揮に当たった大塚広貴理事（㈱九州標識）は「この横断防止柵や横断線などの交通安全施設が子供たちの交通事故防止に役立つように願っています。また、このように専門工事業者の会員技術者の皆さんのが施工技術をいかんなく発揮し、立派に仕上げていただきました。11月9日（月）に飯塚市や教育委員会に出向いて、施設の寄贈式を行いますが、会員の交通安全に対する思いや工事施工の状況などをしっかり報告したい」と嬉しそうに話していた。